

岡山県 半導体関連分野における地域産業クラスター計画の概要

1. 産業領域

半導体デバイス・製造装置等を核とする半導体関連産業領域

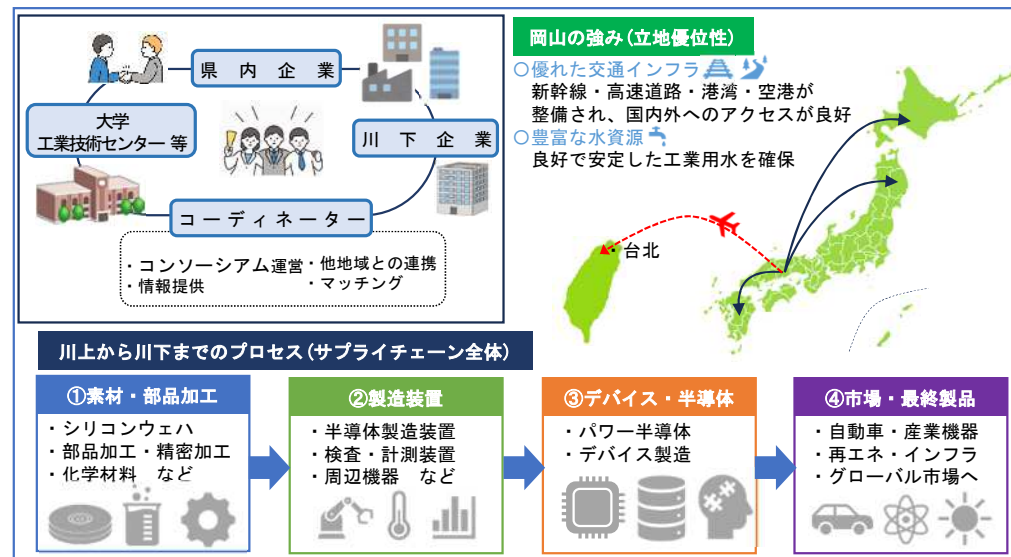
2. 対象エリア

・核となる区域

備後から備前地域にかけての県南部を中心としたエリア（笠岡市、井原市、里庄町、岡山市）及び津山地域を核となる地域に特定し、県内各地にその経済効果を波及させる

・核となる事業者

おかやま半導体関連コンソーシアム会員の半導体関連企業



3. 目指す姿（目標）

成長分野における競争力強化

（1）現状の整理

半導体産業は、デジタル社会の基盤を支える世界的な成長産業であり、県内には、製造装置やデバイス、材料、部品加工など、半導体に関連する多様な企業が集積している。

（2）目指すべき目標（KGI）

- ①付加価値創出額
554億円（2023年度）
→815億円（2036年度）
- ②官民設備等投資額
2036年度までに総額347億円
- ③産業人材育成数
2036年度までに300人育成

4. 勝ち筋

（1）基本戦略

設備投資促進や関連企業の誘致、産学官連携による共同研究、サプライチェーン構築、人材育成を進め、官民連携での半導体産業の技術革新と競争力強化を図り、地域産業クラスターの形成を目指す。

（2）投資の具体像

- 総額 347億円
（官：19億円 民：328億円）
- <主な投資目的>
- ・生産性向上や技術増強のための工場新設、改修等
 - ・新技術・新製品の開発

5. 政策手段

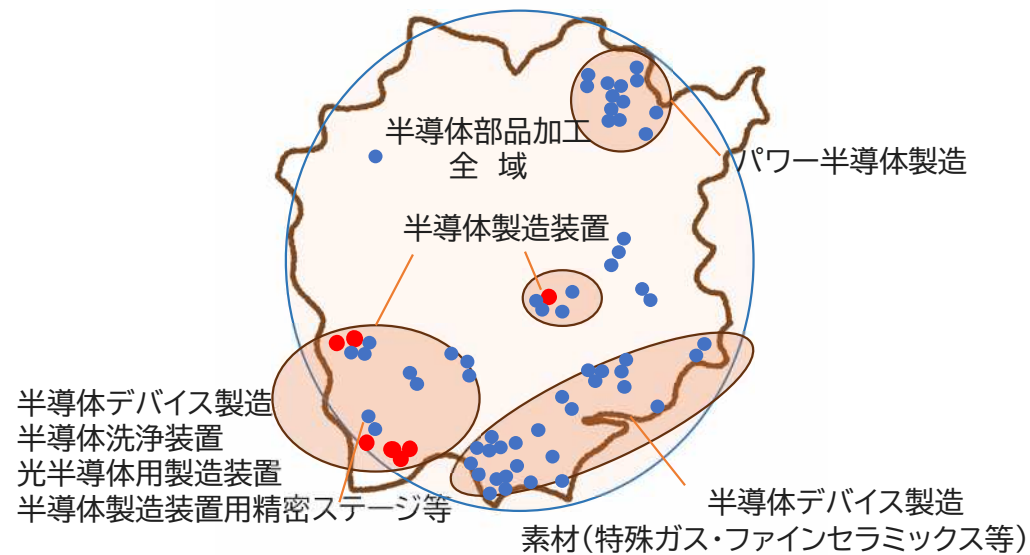
（1）課題

大型設備投資の資金確保、研究開発の支援、産学官連携の強化、サプライチェーン構築支援、リスクリングの機会や専門人材の不足が課題である。

（2）政策パッケージ

- ・地域未来投資促進税制の活用による投資負担の軽減
- ・共同研究開発、産学官連携の強化につながる研究開発補助金の充実
- ・サプライチェーン構築のための県内外における技術交流会等の実施
- ・人材育成支援のための基礎研修の企画・実施及び高度研修費用助成

岡山県 半導体関連分野における地域産業クラスター計画の概要



核となる事業者

- エスタカヤ電子工業株式会社
 - 株式会社ジェイ・イー・ティ
 - タカヤ株式会社
 - タツモ株式会社
 - フェニテックセミコンダクター株式会社
 - 安田工業株式会社
 - ローム・デバイスマニュファクチャリング株式会社
- ほか60社

※おかやま半導体関連コンソーシアムの会員企業が中心となり、将来に向けた積極的な投資計画を有する企業を中核企業に据える。



エスタカヤ電子工業
【LSIデバイス・モジュール等】



タツモ
【半導体製造装置】



ジェイ・イー・ティ
【半導体洗浄装置】



安田工業
【精密ステージ】

